

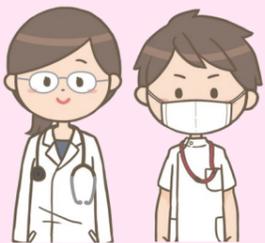
平和暮らしに希望を



ケア労働者の賃上げと人員増を！

医師・看護師・介護職員などの大幅増員と賃上げ、「夜勤交替制労働」の労働環境の改善、及び、医療・介護・障害福祉等の報酬改定の1年前倒し実施と、10%以上の引き上げ、25年度中に全額公費で賃上げ支援を行うことなどを求める意見書の提出を求める陳情が審議されました。第4回定例会本会議（12/12）で、日本共産党、民主クラブ、いたばし未来が賛成しましたが、自民・公明・維新・参政・無所属などの反対で不採択になりました。

医療や介護の現場は、過酷な労働環境や低賃金のために人員不足が常態化しています。インターバルなしで連続16時間以上の夜勤は、ILO看護条約などの国際水準が守られていません。また、2025年春闘の結果は、医療機関や介護施設での賃上げは平均2.07%（5772円）にとどまり、民間主要企業の賃上げ率5.52%（18629円）の3分の1、年間賞与は民間企業の2分の1という状況です。政府による医療費抑制の政策が、医療や介護の現場を疲弊させ、国や都の調査でも、病院の7割が赤字経営の悲鳴が上がっています。「安心・安全の医療・介護」の実現のために、今こそ、「大幅賃上げ」「夜勤規制」「大幅増員」「報酬10%以上の引き上げ」の声を上げましょう。



心・安全の医療・介護」の実現のために、今こそ、「大幅賃上げ」「夜勤規制」「大幅増員」「報酬10%以上の引き上げ」の声を上げましょう。

核抑止力は、核廃絶とは両立しない

核兵器禁止条約第1回再検討会議への

オブザーバー参加を求める意見書が採択に

本会議(12/12)で自民・参政と維新が反対したものの、共産・民主ク・公明・未来・無所属の賛成で多数となり、採択され意見書が提出されることになりました。意見書本文では、国際社会で核による威嚇や核兵器使用への懸念が高まっている情勢と、唯一の戦争被爆国である日本が未だ核兵器禁止条約を締結していないことを示し、核抑止力と核廃絶の理念は両立しがたいと厳しく指摘しました。2026年に開かれる第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求めています。企画総務委員の荒川なお議員は「2026年こそ、核廃絶へ前に踏み出しましょう！」と呼びかけます。



荒川なお

緊急申し入れ

区議団は、12月12日、区に対し「国保料の大幅値上げ中止」「年末年始の困窮者対策」などを緊急に申し入れました。申し入れ本文は、区議団ホームページをご覧ください。



日本共産党板橋区議団ニュース

いたばし元気帳

2026年 新春号

●元気帳は無料です。お申込みは、各区議事務所へ

ご意見・ご要望をお寄せください

inf@jcp-itabashi.gr.jp

板橋 日本共産党

Q 検索



発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
〒173-0004 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731

※控え室は、月・火・木の9時～13時の間にお電話下さい。